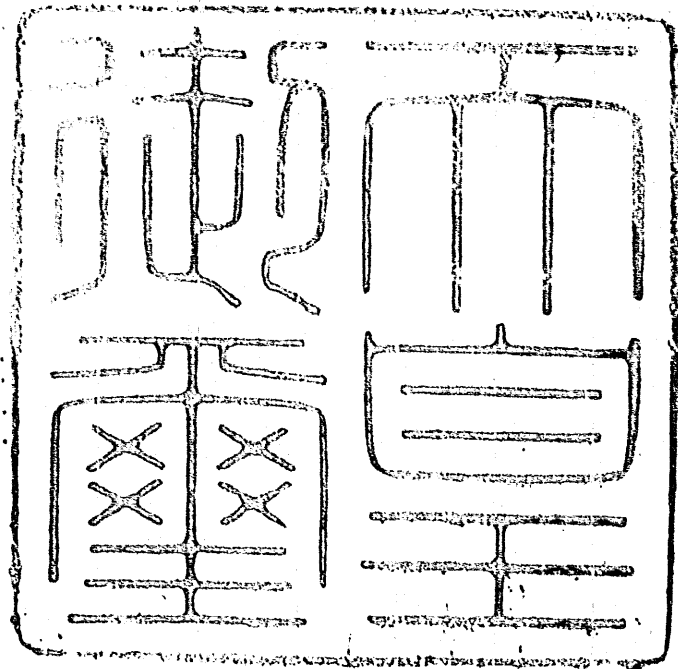


勅令第二百七十号

朕陸軍補充令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ
シム

陛下



明治四十四年十月二十五日

内閣總理大臣侯爵 西園寺公望
陸軍大臣男爵 石井新六

勅令第二百七十號
陸軍補充令

第一章 總則

第一條 陸軍將校、同相當官、准士官、下士、
憲兵上等兵、看護卒及樂手補ノ補充ニ
關シテハ別ニ定ムルモノ、外本令ノ
定ムル所ニ依ル

第二條 本令中特ニ明文アル場合ヲ除
ク、外兵科部及役種ハ補充ニ因リ之
ヲ變更スルコトナシ

第二章 現役士官ノ補充

第一款 各兵科士官

第三條 歩、騎、砲、工、輜重兵科現役士官ハ士官候補生ニシテ少尉ニ任セラルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス。憲兵科現役士官ハ他兵科ノ士官ヨリ轉科セシム。

第四條 士官候補生ハ陸軍中央幼年學校本科卒業者ノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ召募試験ニ及第シタ

ル者ヨリ之ヲ採用ス但シ第一號ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ學業成績優秀ナル者ニハ學科試験ヲ省略スルコトヲ得

- 一 中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニシテ陸軍大臣ノ指定シタルモノヲ卒業シタル者但シ准士官下士官卒及陸軍諸生徒ヲ除ク
- 二 一年志願兵中品行方正志操確實ナル者ニシテ聯隊長ノ保證ヲ得

タル者

三 陸軍現役下士中中學校卒業以上ノ學力ヲ有シ品行方正志操確實ナル者ニシテ聯隊長又ハ所屬長官ノ保證ヲ得タル者

第五條

士官候補生ニ採用スヘキ人員

ハ陸軍大臣毎年之ヲ定ム

第六條

士官候補生召募ノ方法ハ陸軍

大臣之ヲ定ム

第七條

士官候補生ニ採用スヘキ者ハ

教育總監之ヲ定メ順序ヲ附シタル採用名簿ヲ調製シ各隊配賦名簿ヲ添ヘ

テ之ヲ陸軍大臣ニ移送ス

第八條

士官候補生ハ陸軍大臣前條ノ

名簿ニ基キ之ヲ命シ各隊ニ配賦シ概

ネ一年間該隊ニ於テ下士兵卒ノ勤務

雜役ヲ及ビニ必要ナル軍事學ヲ習得

セシム但シ陸軍中央幼年學校出身者

ノ在隊期間ハ概ネ六月トス

下士又ハ一年志願兵ヨリ士官候補生

ニ採用シタル者ハ入隊ノ日ヲ以テ別
ニ辞令ヲ用キ又其ノ官又ハ服役ヲ免
ス

第九條 士官候補生ニシテ陸軍中央幼
年學校出身ノ者ハ入隊ノ後直ニ之ニ
上等兵ノ階級ヲ與ヘ概ネ二月ノ後伍長ノ
階級ニ概ネ三月ノ後軍曹ノ階級ニ進
メ其ノ他ノ者ハ入隊ノ後直ニ之ニ一
等卒ノ階級ヲ與ヘ概ネ六月ノ後上等
兵ノ階級ニ概ネ八月ノ後伍長ノ階級

ニ概ネ九月ノ後軍曹ノ階級ニ進ム

第十條 士官候補生第八條ノ勤務ヲ習
得シタルトキハ教育總監ハ之ヲ陸軍

士官學校ニ入校セシム

第十一條 士官候補生陸軍士官學校ノ

卒業試験ニ及第シ歸隊シタルトキハ

曹長ノ階級ニ進メ之ニ見習士官ヲ命
ジ概ネ六月間該隊ニ於テ士官ノ勤務
ヲ習得セシム

第十二條 見習士官ヲ將校ト為スノ可

否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將
校銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス
前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ當
該兵科ノ少尉ニ任セララルルノ資格ヲ
具ワルモノトス

第十三條 士官候補生ニシテ左ノ各號

- 一 一ニ談當スル者ハ士官候補生ヲ免
ス
一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又
ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者

二 學力乏シクシテ士官候補生タル

ニ適セサル者

三 將校タルノ才能ニ乏シキ者

四 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ス

又ハ疾病若ハ傷痍ノ為陸軍士官
學校ニ分遣シ得サル者

五 陸軍士官學校條例ニ依リ退校歸
隊ヲ命セラレタル者

六 將校銓衡會議ニ於テ否決シタル者
七 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ服役

ニ堪ヘサル者

八 前各號ニ掲クル者、外士官候補
生タルヲ得ヘカラスト認メタル者

前項ノ規定ニ依リ下士又ハ一年志願
兵出身ノ士官候補生ヲ免シタルトキハ
第一號ニ該當スル者ハ入隊前ニ於ケ
ル兵科部ヲ歸リ鐵工長又ハ計手、一等卒
又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト為シ第二
號乃至第六號及第八號ニ該當スル者
並第七號ニ該當シ豫備役後備役ノ服

役ニ堪アル者ハ入隊前ニ於ケル兵科部及階
級ノ下士ニ任シ又ハ兵卒ト為ス

第十四條 士官候補生諸勤務ノ習得充
分ノ結果ヲ得ス若ハ疾病傷痍ノ為陸
軍士官學校ニ分遣シ得サル者又ハ陸
軍士官學校分遣中卒業ノ目途ナク疾
病傷痍ニ依リ修學ニ堪ヘス若ハ卒業
試験ニ落第シ歸隊シタル者ニシテ仍
望アル者ハ一回限り次ノ入校期迄所
屬隊ニ止マラシムルコトヲ得

第二款 經理部士官

第十五條 經理部現役士官ハ主計候補

生ニシテ三等主計ニ任セラルルノ資

格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第十六條 主計候補生ハ左ノ各號ノ一

ニ該當スル者ニシテ召募試験ニ及第

シタル者ヨリ之ヲ採用ス但シ第一號

ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ學業成

績優秀ナル者ニハ學科試験ヲ省略ス

ルコトヲ得

一 中學校又ハ之ト同等以上ノ學校

ニシテ陸軍大臣ノ指定シタルモ

ノヲ卒業シタル者但シ准士官下

士官卒及陸軍諸生徒ヲ除ク

二 一年志願兵中品行方正志操確實ナル

者ニシテ聯隊長ノ保證ヲ得タル者

三 陸軍現役下士中中學校卒業以上

ノ學力ヲ有シ品行方正志操確實

ナル者ニシテ聯隊長又ハ所屬長

官ノ保證ヲ得タル者

第十七條 主計候補生ニ採用スヘキ人員ハ陸軍大臣毎年之ヲ定ム

第十八條 主計候補生召募ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第十九條 主計候補生ハ陸軍大臣之ヲ命シ師團司令部所在地ノ歩兵聯隊ニ配賦シ概ネ九月間該隊ニ於テ士官候補生ト共ニ同一ノ勤務及軍事學ヲ習得セシム
下士又ハ一年志願兵ヨリ主計候補生

ニ採用シタル者ハ入隊ノ日ヲ以テ別ニ辭令ヲ用キ其ノ官又ハ服役ヲ免ス

第二十條 主計候補生ハ入隊ノ後直ニ之ニ一等卒ノ階級ヲ與ヘ概ネ六月ノ後上等兵ノ階級ニ概ネ八月ノ後三等計手ノ階級ニ進メ陸軍經理學校ニ分遣ハ際二等計手ノ階級ニ進ム

第二十一條 主計候補生第十九條ノ勤務ヲ習得シタルトキハ之ヲ陸軍經理

學校ニ入校セシム

第二十二條

主計候補生陸軍經理學校

ノ卒業試験ニ及第シ歸隊シタルトキハ一等計手ノ階級ニ進メ之ニ見習主計ヲ命シ概ネ六月間所屬隊及當該師團經理部ニ於テ經理部士官ノ勤務ヲ習得セシム

第二十三條

見習主計ヲ經理部士官ト

為スノ可否ハ師團經理部所在地ニ於ケル當該經理部所管一等主計以上ヲ

以テ組織スル經理部士官銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ三等主計ニ任セララルルノ資格ヲ具フルモノトス

第二十四條

主計候補生ニシテ左ノ各

號ノ一ニ該當スル者ハ主計候補生ヲ免ス

一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナ

- キ者
- 二 學力乏シクシテ主計候補生タルニ適セサル者
 - 三 經理部士官タルノ才能ニ乏シキ者
 - 四 諸勤務ノ習得充分ノ結果ヲ得ヌ又ハ疾病若ハ傷痍ノ為陸軍經理學校ニ分遣シ得サル者
 - 五 陸軍經理學校條例ニ依リ退校歸隊ヲ命セラレタル者

- 六 經理部士官銓衡會議ニ於テ否決シタル者
 - 七 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ服役ニ堪ヘサル者
 - 八 前各號ニ掲クル者ノ外主計候補生タルヲ得ヘカラスト認メタル者
- 前項ノ規定ニ依リ下士又ハ一年志願兵出身ノ主計候補生ヲ免シタルトキハ第一號ニ該當スル者ハ入隊前ニ於ケル兵科部（蹄鐵工長又ハ前兵科ノ一等

卒又ハ之ト同等階級ノ兵卒ト為レ第
二號乃至第六號及第八號ニ該當スル
者並第七號ニ該當シ豫備役後備役ノ
服役ニ堪フル者ハ入隊前ニ於ケル兵
科部及階級ノ下士ニ任シ又ハ兵卒ト
為ス

第二十五條 主計候補生諸勤務ノ習得
充分ノ結果ヲ得ス又ハ疾病傷痍ノ為
陸軍經理學校ニ分遣シ得サル者ニレ
テ仍望アル者ハ一回限り次ノ入校期

迄所屬隊ニ止ラシムルコトヲ得

第三款 衛生部士官

第二十六條 衛生部現役士官ハ見習醫
官又ハ見習藥劑官ニシテ二等軍醫二
等藥劑官三等軍醫又ハ三等藥劑官ニ
任セラルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ
之ヲ補充ス

第二十七條 見習醫官又ハ見習藥劑官
ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之
ヲ採用ス

一 帝國大學醫科大學學生ニシテ陸軍衛生部依託學生ト為リ同大學ヲ卒業シタル者

二 官立公立又ハ醫師法第一條若ハ藥品營業並藥品取扱規則第四十六條ノ規定ニ依リ文部大臣ノ指定シタル私立ノ醫學專門學校又ハ藥學專門學校ノ生徒ニシテ陸軍衛生部依託生徒ト為リ同學校ヲ卒業シタル者

三 軍醫生又ハ藥劑生タル一年志願兵

四 前各號ニ該當セサル者ニシテ帝國大學醫科大學若ハ第二號ノ學校ヲ卒業シタル者又ハ外國ノ醫學校若ハ藥學校ヲ卒業シ醫師免許證若ハ藥劑師免狀ヲ有スル者但シ准士官下士兵卒ヲ除ク

第二十八條 見習醫官又ハ見習藥劑官ハ陸軍大臣之ヲ命シ師團司令部所在

地ノ步兵聯隊ニ配賦シ概ネ六月間所
屬隊及衛戍病院ニ於テ衛生部士官ノ
勤務ヲ習得セシム
見習醫官又ハ見習藥劑官ノ身分ハ一
等省護長ノ階級トス
一年志願兵出身ノ見習醫官又ハ見習
藥劑官ハ入隊ノ日ヲ以テ別ニ辞令ヲ
用中ス其ノ官又ハ服役ヲ免ス
第二十九條 見習醫官又ハ見習藥劑官
ヲ衛生部士官ト為スノ可否ハ師團軍

醫部所在地ニ於ケル當該軍醫部所管
一等軍醫以上及一等藥劑官以上ヲ以
テ組織スル衛生部士官銓衡會議ニ於
テ之ヲ決ス
前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ帝
國大學醫科大學ヲ卒業シタル者及外
國ノ醫學校又ハ藥學校ヲ卒業シ之ト
同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ在リテ
ハ二等軍醫又ハ二等藥劑官ニ其ノ他
ノ者ニ在リテハ三等軍醫又ハ三等藥

劑官ニ任セララルルノ資格ヲ具フルモ
ノトス

第三十條 見習醫官又ハ見習藥劑官ニ

シテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ見

習醫官又ハ見習藥劑官ヲ免ス

一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又

ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナ

キ者

二 學力乏シクシテ見習醫官又ハ見

習藥劑官タルニ適セサル者

三 衛生部士官タルノ才能ニ乏シキ

者

四 衛生部士官銓衡會議ニ於テ否決

シタル者

五 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ服役

ニ堪ヘサル者

六 前各號ニ掲クル者ノ外見習醫官

又ハ見習藥劑官タルヲ得ヘカラ

スト認メタル者

前項ノ規定ニ依リ一年志願兵出身ノ

見習醫官又ハ見習藥劑官ヲ免シタル
トキハ第一號ニ該當スル者ハ一等者
護卒ト為シ第二號乃至第四號及第六
號ニ該當スル者並第五號ニ該當シ豫
備役後備役ノ服役ニ堪フル者ハ一等
者護長ニ任ス

第四款 獸醫部士官

第三十一條 獸醫部現役士官ハ見習獸
醫官ニシテ二等獸醫又ハ三等獸醫ニ
任セララルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ

之ヲ補充ス

第三十二條 見習獸醫官ハ左ノ各號ノ

一ニ該當スル者ヨリ之ヲ採用ス

一 帝國大學農料大學獸醫學科學生
ニシテ陸軍獸醫部依託學生ト為
リ同學科ヲ卒業シタル者

二 帝國大學農料大學獸醫學實科生
徒又ハ官立實業專門學校獸醫學
科生徒ニシテ陸軍獸醫部依託生
徒ト為リ同學科ヲ卒業シタル者

三 獸醫生タル一年志願兵
四 前各號ニ該當セサル者ニシテ第

一號若ハ第二號ノ學科ヲ卒業シ
タル者又ハ外國ノ獸醫學校ヲ卒
業シ獸醫免狀ヲ有スル者但シ准
士官下士兵卒ヲ除ク

第三十三條 見習獸醫官ハ陸軍大臣之
ヲ命シ師團司令部所在地ノ騎砲輜重
兵隊ニ配賦シ概ネ六月間該隊ニ於テ
獸醫部士官ノ勤務ヲ習得セシム

見習獸醫官ノ身分ハ一等蹄鐵工長ノ
階級トス

一年志願兵出身ノ見習獸醫官ハ入隊
ノ日ヲ以テ別ニ辞令ヲ用キス其ノ官
又ハ服役ヲ免ス

第三十四條 見習獸醫官ヲ獸醫部士官
ト為スノ可否ハ師團獸醫部所在地ニ
於ケル當該獸醫部所管一等獸醫以上
ヲ以テ組織スル獸醫部士官銓衡會議
ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決シタル者ハ帝國大學農科大學獸醫學科ヲ卒業シタル者及外國ノ獸醫學校ヲ卒業シ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ在リテハ
ハ二等獸醫ニ其ノ他ノ者ニ在リテハ
三等獸醫ニ任セララルルノ資格ヲ具フルモノトス

第三十五條 見習獸醫官ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ見習獸醫官ヲ免ス

- 一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 二 學力乏シクシテ見習獸醫官タルニ適セサル者
- 三 獸醫部士官タルノ才能ニ乏シキ者
- 四 獸醫部士官銓衡會議ニ於テ否決シタル者
- 五 疾病又ハ傷痍ニ依リ現役ノ服役

ニ堪ヘサル者

六 前各號ニ掲クル者ノ外見習獸醫官タルヲ得ヘカラスト認メタル者

前項ノ規定ニ依リ一年志願兵出身ノ見習獸醫官ヲ免シタルトキハ第一號ニ該當スル者ハ原兵科ノ一等卒ト為シ第二號乃至第四號及第六號ニ該當スル者竝第五號ニ該當シ豫備役後備役ノ服役ニ堪フル者ハ一等蹄鐵工長

ニ任ス

第三章

豫備役將校同相當官ノ補充

第三十六條 豫備役將校同相當官ハ一年志願兵終末試験ニ及第シ豫備役ニ入リタル者ニシテ少尉同相當官ニ任セラルルノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第三十七條 一年志願兵終末試験ニ及第シ豫備役ニ入リタル者ヲ豫備役士

官ニ任スルニハ之ヲ第一次及第二次
勤務演習ニ召集スルコトヲ要ス其ノ
期間ハ毎回少クトモ三月トス

第三十八條 第一次勤務演習ニ召集シ
タル者ニ付テハ其ノ終ニ於テ試験ヲ
行ヒ其ノ成績ト平素勤務ノ成績トヲ
參酌シ及第者ハ召集解除ノ際曹長同
相當官ニ任ス

前項試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム
第三十九條 第二次勤務演習ニハ前條

ノ規定ニ依リ曹長同相當官ニ任シタ
ル者ニ就キ師團長所要ノ人員ヲ選抜
シテ之ヲ召集ス

第四十條 第二次勤務演習ニ召集シタ
ル者ハ其ノ演習期間之ニ豫備役ノ見
習士官見習主計見習醫官見習藥劑官
又ハ見習獸醫官ヲ命ス其ノ取扱及教
育ハ現役ノ見習士官見習主計見習醫
官見習藥劑官又ハ見習獸醫官ニ準ス
第四十一條 第二次勤務演習ニ召集シ

タル者ヲ少尉同相當官ト爲スノ銓衡
及其ノ任官ノ資格ニ関シテハ第十二
條第二十三條第二十九條又ハ第三十
四條ノ例ニ依ル

第四十二條 第一次又ハ第二次勤務演

習ニ召集中ノ者ニシテ左ノ各號ノ一

ニ該當スル者ハ召集ヲ解除ス

一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又

ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナ

キ者

二 豫備役士官タルノ才能ニ乏シキ
者

三 疾病又ハ傷痍ニ依リ一時服役ニ

堪ヘサル者

四 前各號ニ掲クル者ノ外豫備役ノ

見習士官見習主計見習醫官見習

藥劑官又ハ見習獸醫官タルヲ得

ヘカラスト認メタル者

前項ノ規定ニ依リ第一號ニ該當スル
者ノ召集ヲ解除シタルトキハ之ヲ原

兵科ノ一等卒又ハ一等看護卒ト爲ス
第四十三條 前條第三號ニ該當スル者
ハ其ノ志願ニ依リ更ニ之ヲ次ノ第一
次又ハ第二次勤務演習ニ召集スルコ
トヲ得

第四章 現役下士ノ補充

第四十四條 憲兵科現役下士ハ左ニ掲
クル者ヲ以テ之ヲ補充ス

- 一 憲兵上等兵ニシテ二年以上憲兵
ノ職務ニ服シ品行方正志操確實

ナル者

二 歩騎砲工輜重兵科ノ隊附下士砲

諸工長ヲ除ク中六年以上現役ニ服シ品

行方正志操確實ニシテ憲兵ニ轉

科ヲ志願シ補充検査ニ合格シ且

一年以上現役期限ヲ有スル者

三 豫備役後備役憲兵上等兵ニシテ

下士適任證書ヲ有シ現役満期後

二年以内ニ現役下士ヲ志願スル者

四 豫備役後備役憲兵軍曹伍長中品

行方正志操確實ニシテ現役満期
 後二年以内ニ現役ヲ志願スル者
 豫備役後備役歩騎砲工輜重兵軍
 曹伍長中六年以上現役ニ服シ品
 行方正志操確實ニシテ現役満期
 後二年以内ニ現役憲兵下士ヲ志
 願シ補充検査ニ合格シタル者
 第四十五條 歩騎砲工輜重兵科現役下
 士^{砲兵諸工}ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之
 ヲ補充ス

一 各兵科兵卒^{輸卒ヲ}中下士ヲ志願
 シタル者ニシテ二年以上在營シ
 下士タルニ適スル者
 二 各兵科下士適任證書ヲ有スル上
 等兵ニシテ歸休ヲ命セラレ又ハ
 現役期限満ツル迄在營ニシテ豫備
 役ニ入り退營後二年以内ニ現役
 下士ヲ志願スル者
 三 豫備役後備役軍曹伍長ニシテ現
 役満期後二年以内ニ現役ヲ志願

スル者

第四十六條 現役砲兵諸工長ハ砲兵工
長候補者ニシテ陸軍砲兵工科學校ヲ
卒業シタル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第四十七條 現役計手ハ左ニ掲クル者
ヲ以テ之ヲ補充ス

- 一 一年以上在營シタル歩騎砲工輜
重兵上等兵ニシテ計手ヲ志願シ
之ニ必要ナル學術ヲ習得シタル
者

二 計手適任證書ヲ有スル上等兵ニ
シテ歸休ヲ命セラレ又ハ現役期
限滿ツル迄在營シテ豫備役ニ入
リ退營後二年以内ニ現役計手ヲ
志願スル者

三 豫備役後備役ノ二等計手又ハ三
等計手ニシテ現役滿期後二年以
内ニ現役ヲ志願スル者

第四十八條 現役縫靴工長ハ左ニ掲ク
ル者ヲ以テ之ヲ補充ス

一 縫靴工卒中縫靴工長ヲ志願シタル者ニシテ
 二年以上在營シ縫靴工長ニ必要
 ナル學術ヲ習得シタル者
 二 縫靴工長適任證書ヲ有スル上等
 縫靴工卒ニシテ歸休ヲ命セラレ
 又ハ現役期限滿ツル迄在營シテ
 豫備役ニ入り退營後二年以内ニ
 現役縫靴工長ヲ志願スル者
 三 豫備役後備役縫靴工長ニシテ現
 役滿期後二年以内ニ現役ヲ志願

スル者
 第四十九條 現役看護長ハ左ニ掲クル
 者ヲ以テ之ヲ補充ス
 一 看護卒中看護長ヲ志願シタル者
 ニシテ二年以上在營シ看護長タ
 ルニ適スル者
 二 下士適任證書ヲ有スル上等看護
 卒ニシテ歸休ヲ命セラレ退營後
 二年以内ニ現役看護長ヲ志願ス
 ル者

三 豫備役後備役ノ二等看護長又ハ三等看護長ニシテ現役満期後二年以内ニ現役ヲ志願スル者

第五十條 現役蹄鐵工長ハ蹄鐵工長候補者ニシテ陸軍獸醫學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第五十一條 蹄鐵工長候補者ハ一年以上在營シタル現役蹄鐵工卒ニシテ再服役ヲ志願シ蹄鐵工長タルニ適スル者ヨリ採用シ陸軍獸醫學校ニ分遣ス

第五十二條 蹄鐵工長候補者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蹄鐵工長候補者ヲ免ス

- 一 軍紀ヲ紊リ若ハ屢法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ目途ナキ者
- 二 學術ノ習得不良ニシテ卒業ノ目途ナキ者
- 三 疾病又ハ傷痍ニ依リ卒業ノ目途ナキ者

四 卒業試験ニ落第シタル者

第五十三條 現役樂手ハ樂手補ニシテ
樂手ヲ志願シ一年以上在營シ下士
ルノ技能ヲ有スル者ヲ以テ之ヲ補充
ス

第五章 豫備役後備役下士ノ補充

第五十四條 各兵科部豫備役後備役下
士ハ各兵科部下士適任證書ヲ有スル
兵卒ヲ以テ之ヲ補充ス
前項ノ場合ニ於テ下士適任證書ノ種

類ニ依リ兵科部ノ變更ヲ要スル者ハ
之ヲ當該兵科部ニ轉セシム

第五十五條 前條ノ補充ハ戰時又ハ事

變ノ際ニ限リ之ヲ爲ス但シ平時ノ勤
務演習ニ於テ技能ヲ査閲シ適當ト認
メタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 豫備役後備役各兵科上等

兵及上等看護卒ハ下士適任證書ヲ有
スル者ニ在リテハ二月以上其ノ他
者ニ在リテハ一年以上平時部隊ニ勤

務シ其ノ成績優秀ナル者ニ限り之ヲ
以テ下士ヲ補充スルコトヲ得

第六章

現役憲兵上等兵看護卒
及樂手補ノ補充

第五十七條

現役憲兵上等兵ハ歩騎砲
工輜重兵科兵卒除ク卒ヲ一年以上在
營シ年齢二十年以上ノ品行方正志操
確實ナル者ニシテ憲兵ヲ志願シ三月
以上憲兵上等兵ノ勤務ニ必要ナル學
術ヲ習得シ補充検査ニ合格シタル者

ヲ以テ之ヲ補充ス

第五十八條

現役看護卒ハ左ニ掲クル
者ヲ以テ之ヲ補充ス

一 隊附上等看護卒ニ在リテハ概ネ

四月間在營シタル歩騎砲工輜重
兵科ノ初年兵ニシテ概ネ八月間
看護學ヲ習得シタル者但シ對馬
警備隊ニ於テハ其ノ各期間ヲ半
減ス

二 病院附二等看護卒ニ在リテハ其

ノ所在地ノ歩兵聯隊歩兵聯隊ナ
軍隊他ノノ初年兵ニシテ概テ四月
間在營シタル者

第五十九條 現役樂手補ハ陸軍戸山學校軍樂生徒ノ卒業シタル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第七章 特別補充

第六十條 戰時又ハ事變ノ際ニハ前各章ニ依ルノ外本章ニ依リ必要ニ應シ士官以下ヲ補充スルコトヲ得

第六十一條 士官ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

- 一 現役豫備役後備役ノ見習士官見習主計見習醫官見習藥劑官又ハ見習獸醫官
- 二 現役豫備役後備役ノ特務曹長又ハ上等計手ニシテ曹長同相當官ニ任セラレタル日ヨリ二年以上實務ニ服シタル者
- 三 豫備役後備役上等看護長ニシテ

衛生部士官勤務適任證書ヲ有スル者

前項補充ノ時期及區分ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六十二條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於テハ左ニ掲クル者ヲ以テ豫備役ノ見習士官見習主計見習醫官見習藥劑官又ハ見習獸醫官ト爲スコトヲ得

一 下士ニシテ各兵科部士官勤務適任證書ヲ有スル者

二 軍醫生藥劑生又ハ獸醫醫生タル一

年志願兵

三 前各號ニ該當セサル現役豫備役下士又ハ現役豫備役補充兵役兵卒ニシテ醫師免許證醫術開業免狀藥劑師免狀又ハ獸醫免狀ヲ有スル者

四 前各號ニ掲クル者ノ外醫師免許證醫術開業免狀藥劑師免狀又ハ獸醫免狀ヲ有スル者

前項第四號ニ該當スル者ノ採用ノ方法及時期ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第六十三條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於

テハ左ニ掲クル者ヲ以テ後備役ノ見

習士官見習主計見習醫官見習藥劑官

又ハ見習獸醫官ト爲スコトヲ得

一 下士ニシテ各兵科部士官勤務適

任證書ヲ有スル者

二 前號ニ該當セサル下士兵卒ニシ

テ醫師免許證醫術開業免狀藥劑

師免狀又ハ獸醫免狀ヲ有スル者

第六十四條 前二條ノ規定ニ依リ豫備

役後備役ノ見習士官見習主計見習醫

官見習藥劑官又ハ見習獸醫官ト爲リ

タル者ノ身分取扱ハ現役ノ見習士官

見習主計見習醫官見習藥劑官又ハ見

習獸醫官ニ準ス

第六十五條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於

テハ左ニ掲クル者ヲ以テ下士ヲ補充

スルコトヲ得

一 一年志願兵ニシテ四月以上在營
シタル者

二 現役豫備役後備役補充兵後ノ上
等兵又ハ上等看護卒

三 蹄鐵工長候補者ニシテ概ネ六月
以上陸軍獸醫學校ニ於テ修業シ
タル者

四 現役豫備役後備役上等兵タル蹄
鐵工卒ニシテ蹄鐵工長タルノ技
能ヲ有スル者

第六十六條 憲兵科豫備役後備役士官

准士官下士上等兵ハ士官准士官下士

ニ在リテハ同官等ノ他兵科士官准士

官下士上等兵ニ在リテハ他兵科兵卒

除クテニシテ憲兵ノ勤務ニ必要ナル

學術ヲ習得シタル者ヲ以テ之ヲ補充

スルコトヲ得

第六十七條 豫備役後備役憲兵伍長ハ

憲兵上等兵ヲ以テ之ヲ補充スルコト

ヲ得

第六十八條 豫備役後備役憲兵上等兵

ハ憲兵上等兵タルニ適スル兵卒輪卒ヲ除

クヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

第六十九條 砲兵伍長ハ火工下士候補

學生ニシテ概ネ八月以上陸軍砲兵工

科學校ニ於テ修業シタル者ヲ以テ之

ヲ補充スルコトヲ得

第七十條 砲兵諸工長ハ左ニ掲クル者

ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

一 砲兵工長候補者ニシテ概ネ一年

四月以上陸軍砲兵工科學校ニ於

テ修業シタル者

二 鞍銃木鍛工卒ニシテ陸軍砲兵工

科學校ニ分遣セラレ概ネ六月間

砲兵諸工長ニ必要ナル學術ヲ習

得シタル者

前項第二號ノ分遣ノ方法及時期ハ陸

軍大臣之ヲ定ム

第七十一條 計手ハ歩騎砲工輜重兵科

現役豫備役後備役補充兵役上等兵ニ

シテ計手ヲ志願シ隊附主計ニ附属シ
テ計手ノ勤務ヲ習得シタル者ヲ以テ
之ヲ補充スルコトヲ得

第七十二條 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於
テハ概ネ二月間在營シタル兵卒ニシ
テ概ネ四月間看護學ヲ修メタル者ヲ
以テ上等看護卒ヲ補充スルコトヲ得
第七十三條 病院附二等看護卒ハ概ネ
一月間在營シタル兵卒ヲ以テ之ヲ補
充スルコトヲ得

第七十四條 第六十一條ノ規定ニ依ル
任官ハ戰地ニ在リテハ陸軍武官進級
令又ハ陸軍豫備後備武官進級令ニ依
リ進級補除ノ權ヲ委任セラレタル首
將之ヲ專行スルコトヲ得此ノ場合ニ
於テハ第六十一條第二項ノ規定ヲ適
用セス

第七十五條 第六十二條又ハ第六十三
條ノ規定ニ依リ豫備後後備役ノ見習
士官見習主計見習醫官見習藥劑官又

ハ見習獸醫官ト爲リタル者ハ復員ノ際之ヲ免シ其ノ現ニ曹長同相當官ノ官等ヲ有セサル者ハ第六十二條第四號ニ該當スル者ヲ除クノ外之ヲ曹長相當官ニ任ス

第八章 雜則

第七十六條 陸軍士官勤務適任證書ハ士官ノ勤務ニ必要ナル才能ヲ有スル者陸軍下士適任證書ハ下士タルノ才能ヲ有スル者ニ之ヲ付與ス其ノ方法

ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第七十七條 將校銓衡會議及各部士官

銓衡會議ニ關スル規定ハ陸軍大臣之

ヲ定ム

第七十八條 銓衡會議ニ於テ可決シタ

ル者ハ任官ニ至ル迄部隊ニ在リテ士

官ノ勤務ニ服セシム

第七十九條 士官候補生主計候補生見

習醫官見習藥劑官及見習獸醫官ハ情

願ヲ以テ之ヲ免スルコトナシ

第八十條 憲兵科下士上等兵ノ補充檢
查ニ関スル規定ハ陸軍大臣之ヲ定ム
第八十一條 各兵科下士ノ任官ハ憲兵
科下士ニ在リテハ陸軍大臣ノ認可ヲ
受ケ憲兵司令官他兵科下士砲兵諸工
長ヲ除クニ在リテハ師團長ノ認可ヲ受ケ聯隊
長砲兵諸工長ニ在リテハ陸軍大臣ノ
認可ヲ受ケ東京砲兵工廠提理之ヲ行
各部下士ノ任官ハ計手衛生部下士又

ハ獸醫部下士ニ在リテハ師團長ノ認
可ヲ受ケ師團經理部長師團軍醫部長
又ハ師團獸醫部長縫靴工長ニ在リテ
ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ被服本廠長
之ヲ行ヒ軍樂部下士ニ在リテハ師團
ニ於テハ師團長之ヲ行ヒ陸軍戸山學
校ニ於テハ教育總監ノ認可ヲ受ケ陸
軍戸山學校長之ヲ行フ
戰時又ハ事變ノ際ニハ下士ノ任官ハ
前二項ノ規定ニ拘ラス師團長又ハ之

ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ受
ケ聯隊長師團經理部長師團軍醫部長
師團獸醫部長又ハ之ト同等以上ノ權
アル部隊長之ヲ行フコトヲ得第五十
五條但書ノ場合亦同シ
戰時又ハ事變ノ際ニハ師團長又ハ之
ト同等以上ノ權アル長官ハ時宜ニ依
リ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル
隊長ヲシテ下士ノ任官ヲ專行セシム
ルコトヲ得

第八十二條

本令中師團長ニ關スル規
定ハ朝鮮駐劄軍司令官臺灣總督關東
都督ニ憲兵司令官ニ關スル規定ハ朝
鮮駐劄憲兵隊司令官ニ師團經理部長
ニ關スル規定ハ朝鮮駐劄軍經理部長
臺灣總督府陸軍經理部長關東都督府
陸軍經理部長ニ師團軍醫部長ニ關ス
ル規定ハ朝鮮駐劄軍軍醫部長臺灣總
督府陸軍軍醫部長關東都督府陸軍軍
醫部長ニ師團獸醫部長ニ關スル規定

ハ臺灣總督府陸軍獸醫部長ニ聯隊長
ニ関スル規定ハ獨立隊長ニ之ヲ適用
ス

附則

第八十三條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ

施行ス

第八十四條 陸軍補充條例明治三十年
勅令第九十四號明治三十七年勅令第
百十號同年勅令第三百三十四號及同年
勅令第二百一號ハ之ヲ廢止ス

第八十五條 縫靴工又ハ縫靴工長ノ勤

務ニ服スル現役兵卒ニシテ縫靴工長
ヲ志願シ適任ト認ムル者ハ當分ノ内
陸軍被服廠ニ於テ必要ナル學術ヲ習
得セシメ之ヲ三等縫靴工長ニ任スル
コトヲ得

第八十六條 縫靴工長適任證書ヲ有ス

ル豫備役後備役上等兵ニシテ縫靴工
長ノ勤務ニ服シタル者ハ戰時又ハ事
變ノ際ニ限リ當分ノ内之ヲ三等縫靴

工長ニ任スルコトヲ得

第八十七條 豫備役後備役兵卒ニシテ

陸軍獸醫學校ヲ卒業シタル者ハ戰時

又ハ事變ノ際ニ限リ當分ノ内之ヲ三

等蹄鐵工長ニ任スルコトヲ得

第八十八條 本令施行ノ際一年志願兵

終末試験及第證書ヲ有スル者ニ関シ

テハ仍從前ノ規定ニ依ル